

SDGsと大阪



2020年10月23日
大阪府 政策企画部 企画室

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を實現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	

SDGs について





SDGs について

“Sustainable Development Goals”（持続可能な開発目標）

- **「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」**に記載（2015年9月 国連総会で採択）
- **2030年までの国際目標**。発展途上国のみならず先進国を含め全世界で取り組む。
- 持続可能な世界を実現するための **17のゴール（目標）**、**169のターゲット**から構成





SDGs は世界共通言語



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	



2030 アジェンダ

2015年9月25日第70回国連総会で採択

我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ（抜粋）

仮訳

前文

このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画である。これはまた、より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求ものでもある。

我々は、極端な貧困を含む、あらゆる形態と側面の貧困を撲滅することが最大の地球規模の課題であり、持続可能な開発のための不可欠な必要条件であると認識する。

すべての国及びすべてのステークホルダーは、協同的なパートナーシップの下、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを決意している。**我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることに決意している。**

我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

今日我々が発表する17の持続可能な開発のための目標（SDGs）と、169のターゲットは、この新しく普遍的なアジェンダの規模と野心を示している。これらの目標とターゲットは、ミレニアム開発目標（MDGs）を基にして、ミレニアム開発目標が達成できなかったものを全うすることを目指すものである。これらは、すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女兒の能力強化を達成することを目指す。

これらの目標及びターゲットは、統合され不可分のものであり、持続可能な開発の三側面、すなわち経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである。

これらの目標及びターゲットは、人類及び地球にとり極めて重要な分野で、向こう15年間にわたり、行動を促進するものになるろう。



2030 アジェンダ (ターゲット)

(参考)
ゴール12
「つくる責任つかう責任」のターゲット

12 つくる責任
つかう責任



目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する

- 12.1 開発途上国の開発状況や能力を勘案しつつ、持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み（10YFP）を実施し、先進国主導の下、すべての国々が対策を講じる。
- 12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
- 12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
- 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
- 12.6 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。
- 12.7 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する。
- 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
- 12.A 開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。



SDGsの主要原則

- 普遍性（国内実施と国際協力の両面で）
- 包摂性（誰一人取り残さない）
- 参画型（国、自治体、企業、市民まで）
- 統合性（経済、社会、環境の統合性）
- 透明性と説明責任（定期的な評価、公表）



持続可能な開発の3つの側面



統合的取組みによる部分最適から**全体最適**へ
統合的取組みによる**トレードオフ問題の緩和**
統合的取組みがもたらす**相乗効果**

SDGs と大阪





SDGs と大阪の親和性

○開放性

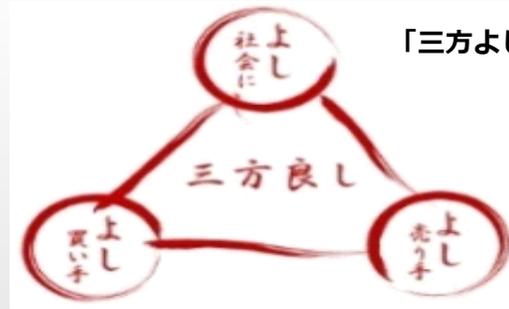
大阪は、国内外の玄関口として、日本の重要拠点として、内外から多くの人やモノを受け入れ、様々な知識や技術を取り入れながら発展



G20大阪サミット

○社会貢献

「三方よし」、「水道哲学」に代表されるように、社会貢献、公利公益の精神を重んじる気質



「三方よし」近江商人



松下幸之助の語録に基づく
経営哲学「水道哲学」

○先取

大阪人は進取の気質に富み、世界標準となる新たな社会システムや、産業、製品等を数多く生み出してきた。

先物取引市場



※出典：大阪市立図書館HP

サントリー創業者
鳥井信治郎の言葉
「やってみなはれ」



※出典：サントリーグループHP



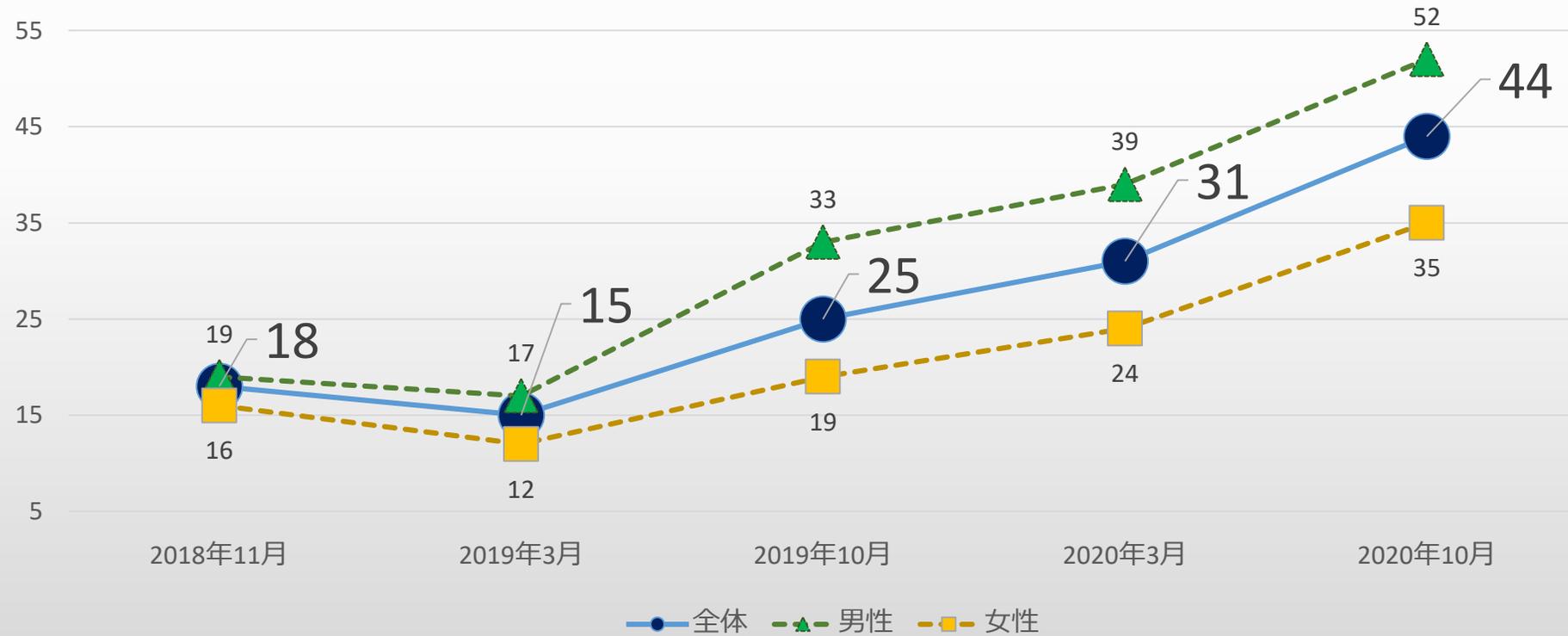
大阪におけるSDGsの認知度

Q：あなたは、「SDGs」をご存知でしたか。

府民全体の認知度は、44%

(2020年10月時点)

単位：%



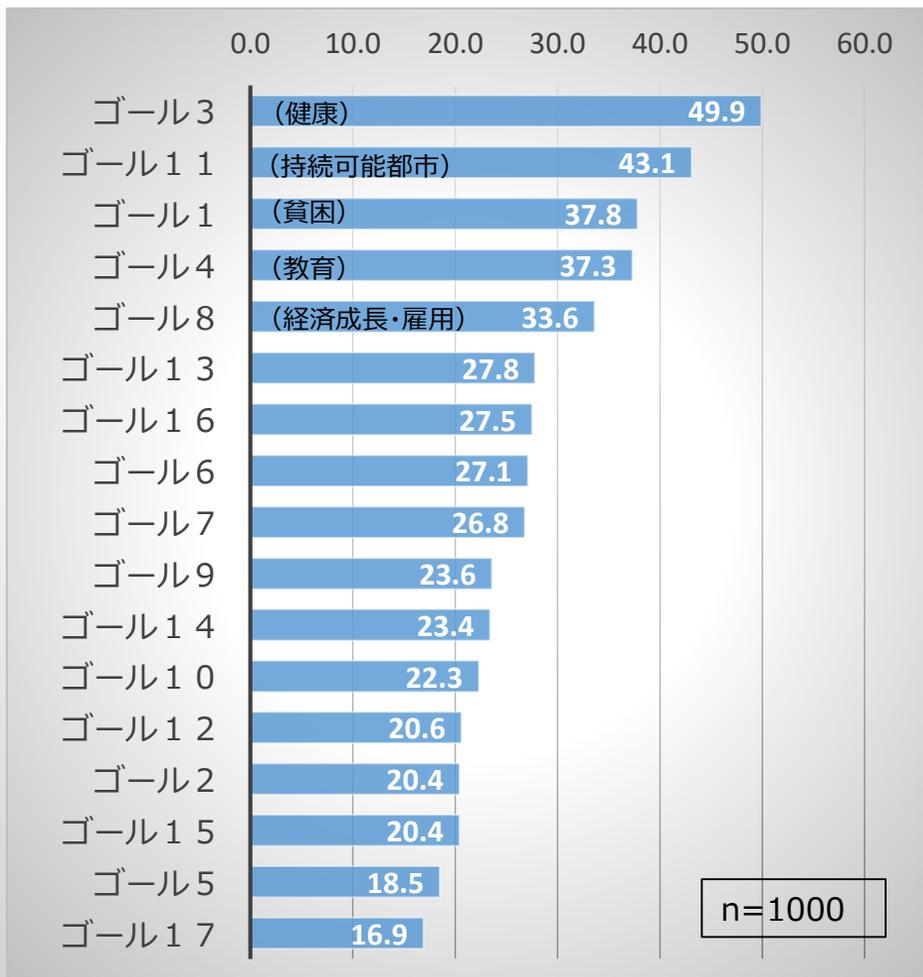
大阪府のネット調査（大阪Qネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査
(対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名)



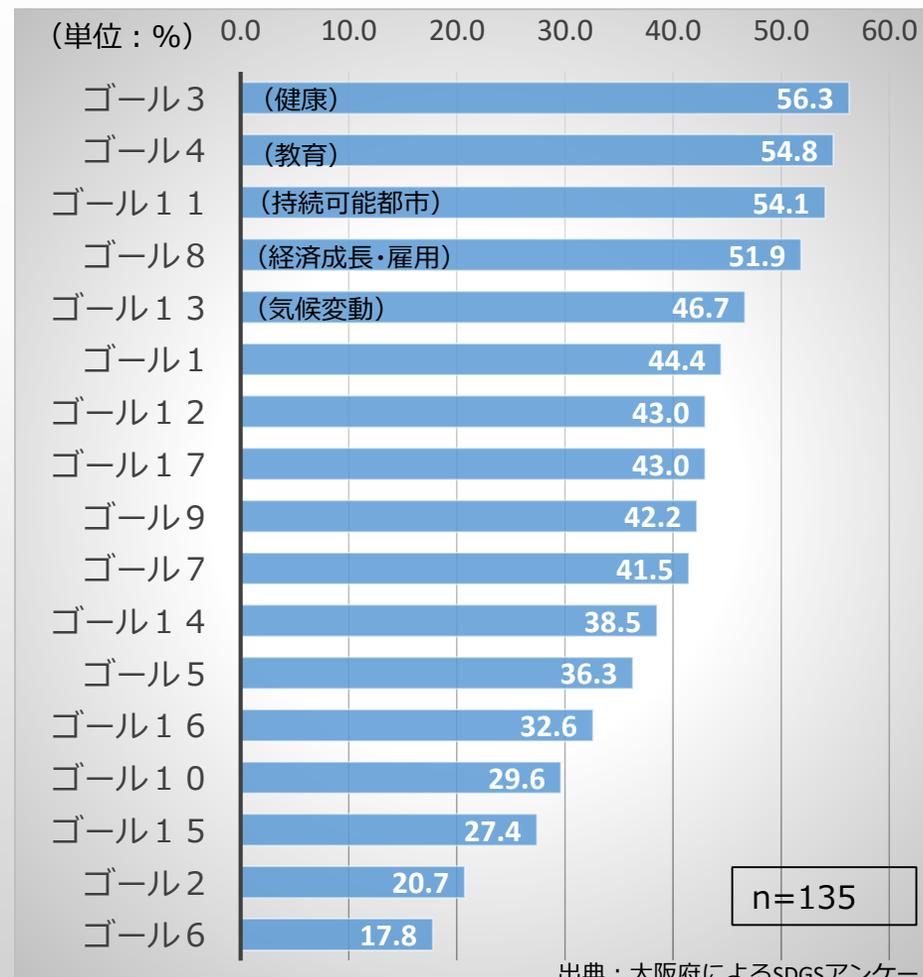
大阪でSDGsを実現していくために 重要なゴールは？ (府民・企業向けアンケート)

Q.SDGsのゴールのうち、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために大阪で重要なゴールは何だと考えますか？

府民向け 調査



企業向け 調査



O s a k a S D G s ビジジョン

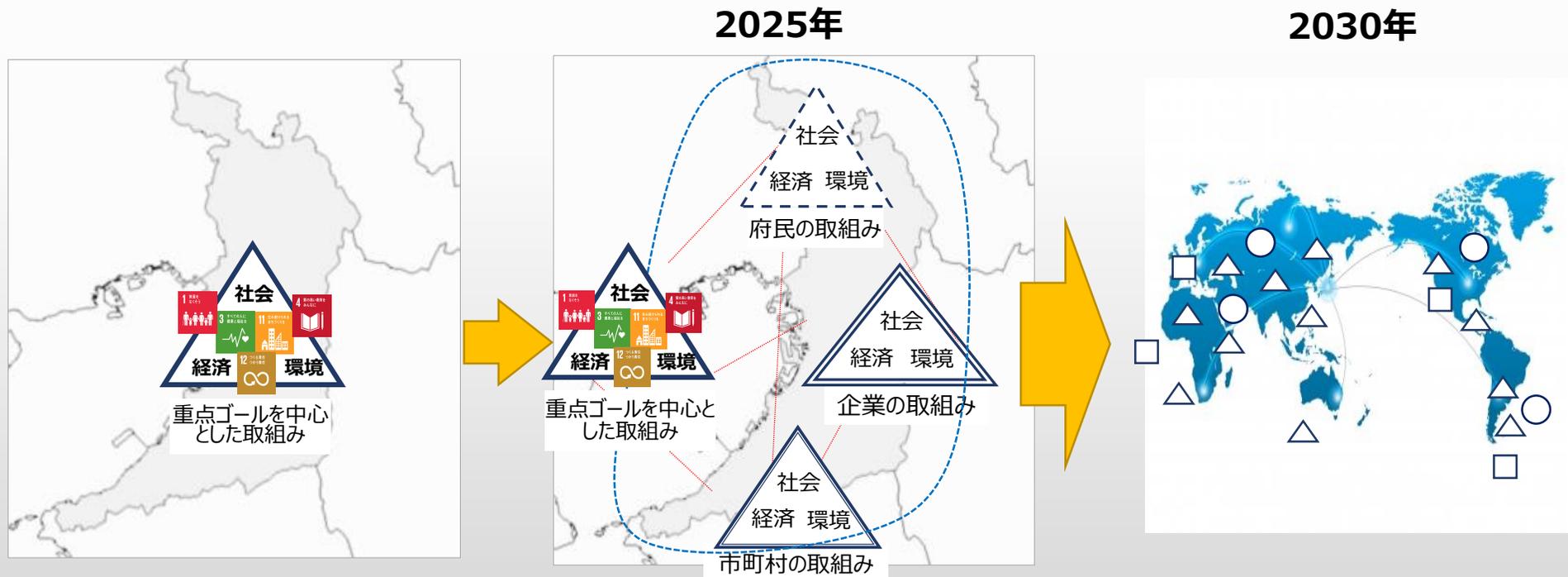




SDGs 先進都市に向けて

SDGs先進都市 ⇒ 世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献

誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的にSDGsの達成をめざす大阪を実現

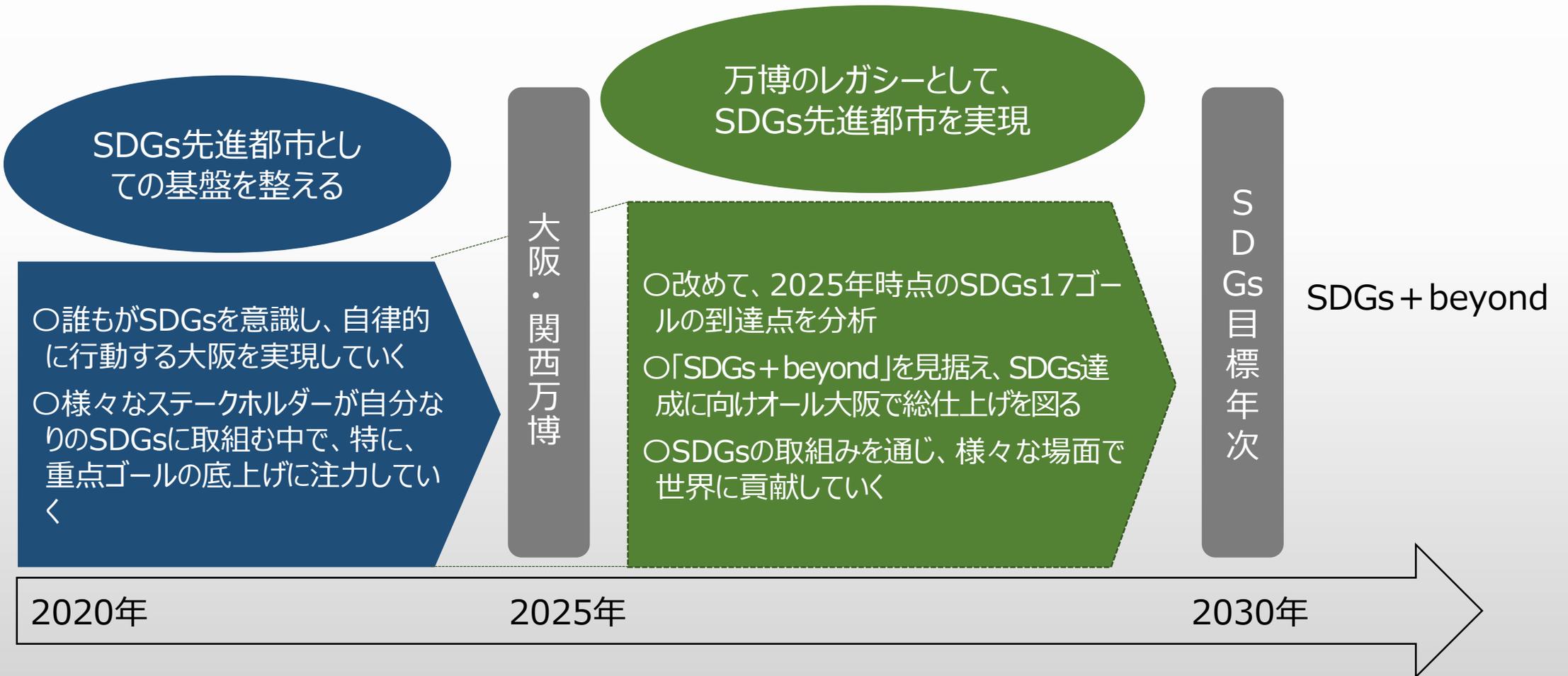


万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する



取組工程





4つの視点

2025年大阪・関西万博に向け、健康や福祉、農業、環境、エネルギー、人権、ジェンダーなど、17のSDGs全てを俯瞰しながら、特に、次の4つの視点から絞り込んだ「重点ゴール」に注力していく。

視点1

SDGs17ゴールの
現在の到達点の分析

「国際的な日本の評価」と「国内評価」を一つの拠り所に、SDGs17ゴールの現在の到達点の分析し、大阪の立ち位置を把握

視点2

府民や企業が重要と
考えるゴールの把握

府民や若者、企業の関心・期待が高いゴールを把握し、様々なステークホルダーの自律的な取り組みの広がりにつなげる

視点3

府の政策や大阪の
ポテンシャル

万博やG20、府政運営の基本的な方針などの府の政策や、大阪のポテンシャルを踏まえることで、強みを活かし、弱みを克服していく

視点4

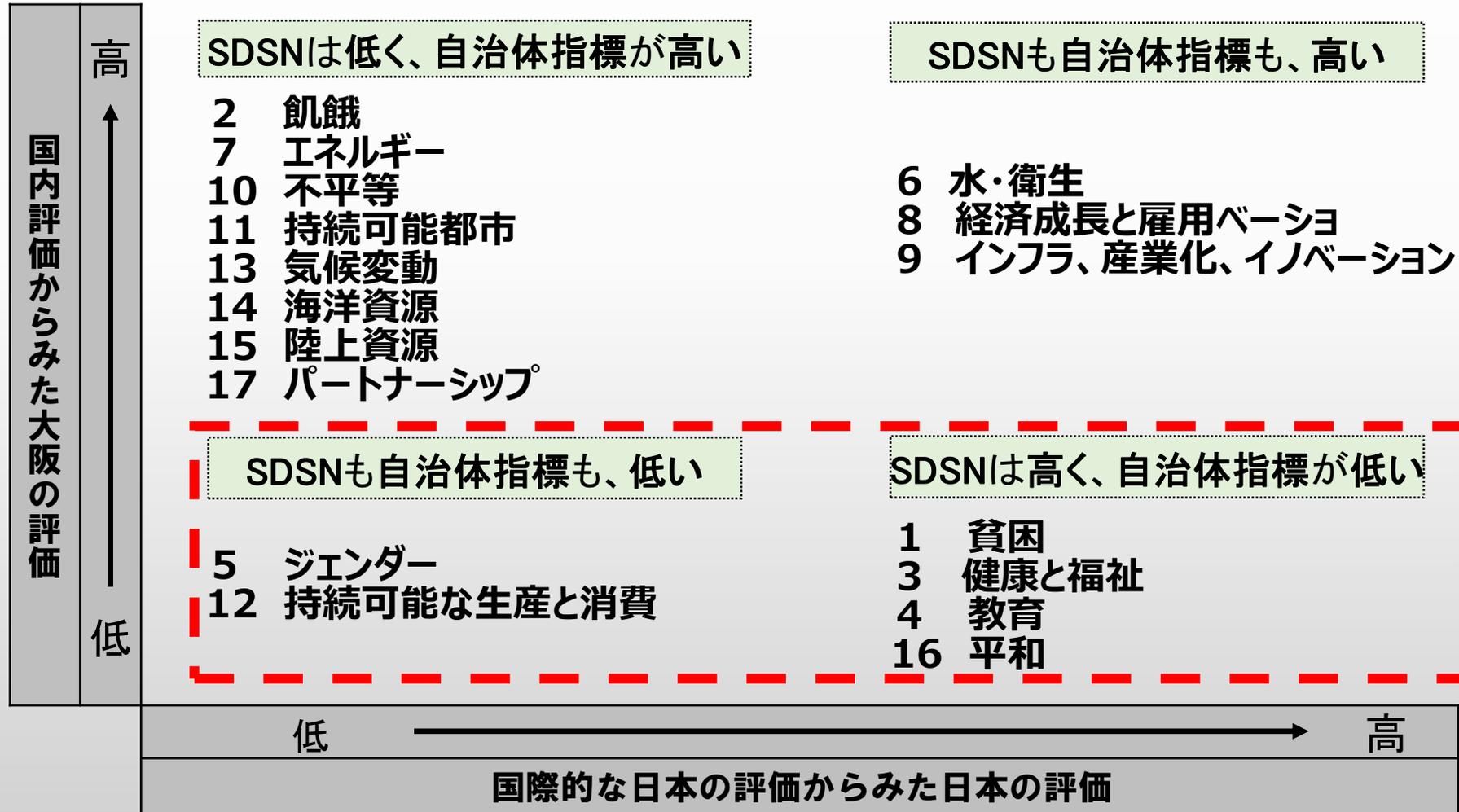
世界の動きを
視野に入れる

大阪と世界とのつながりや、世界のSDGs先進国の特性などを踏まえ、グローバルな視点で取り組む



大阪の現状と課題

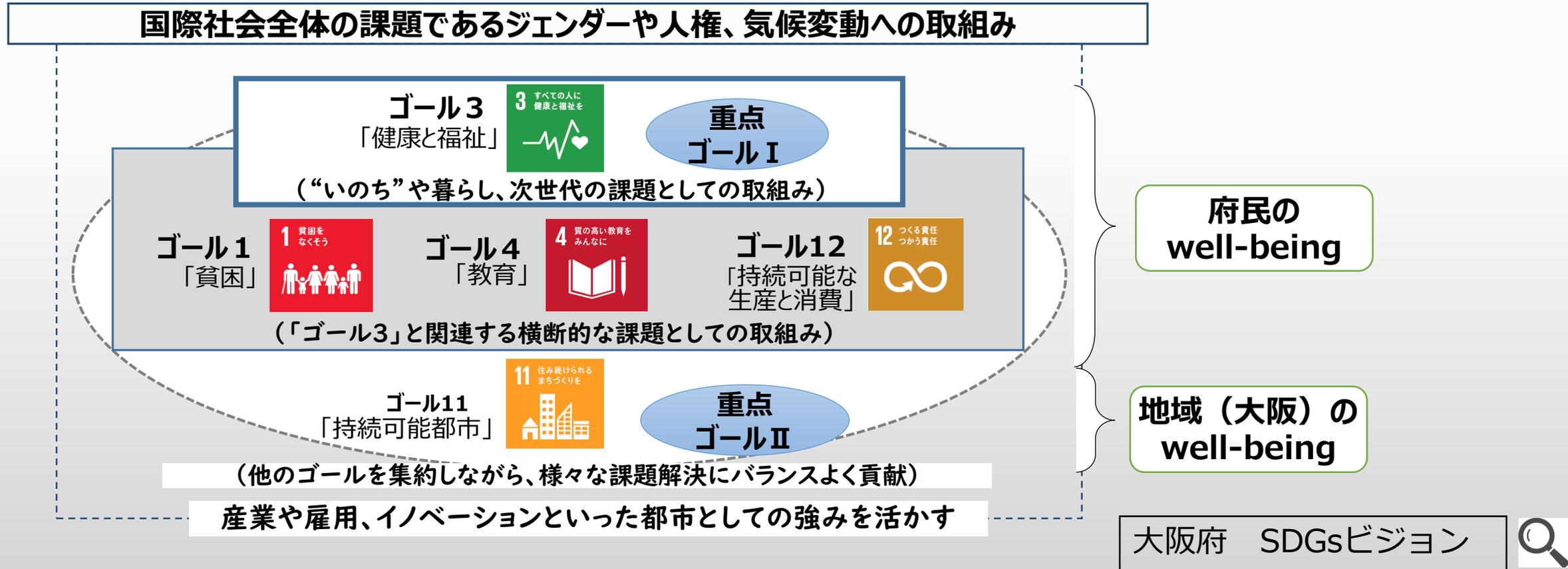
「国際的な日本の評価（SDSN）」と「国内評価（自治体SDGs指標）」から分析した大阪の評価





重点ゴール

◆2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」



SDGs 未来都市





SDGs 未来都市

地方創生に向け、**SDGsの達成に資する優れた取組みを提案する自治体を「SDGs未来都市」として**、また、未来都市提案書に記載された事業のうち、**特に先導的な事業を「自治体SDGsモデル事業」として選定する制度**
(2018年度から内閣府が実施)

※2024年末までに累計210都市が選定される予定

選定状況

	未来都市 選定件数	(うち、モデル事業)	府域の選定状況	未来都市	モデル事業
2018年度	29都市	(10事業)	堺市	○	
2019年度	31都市	(10事業)			
2020年度	33都市	(10事業)	大阪府・大阪市 (共同)	○	○
			豊中市	○	
			富田林市	○	○
計	93都市	(30事業)			



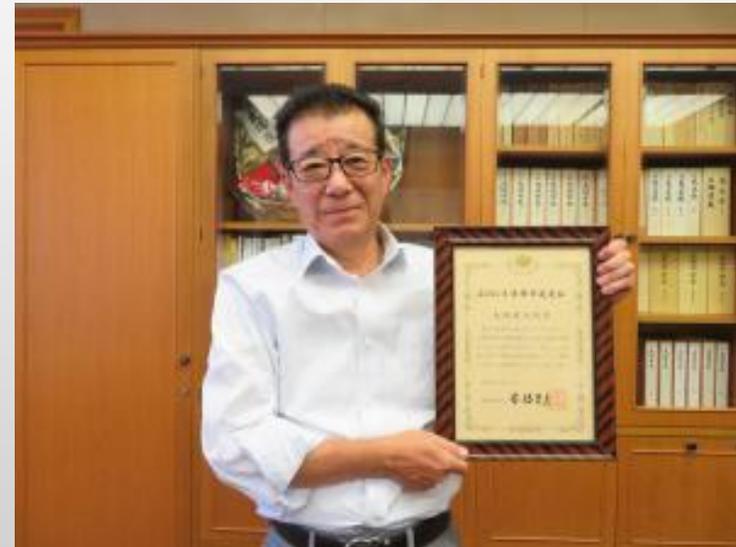
SDGs 未来都市計画 (大阪府・大阪市)

タイトル

2025年大阪・関西万博をインパクトとした「SDGs先進都市」の実現に向けて

SDGs未来都市 計画概要

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる大阪・関西万博の開催都市として、行政だけでなく、府民や企業、市町村、金融機関、経済界などあらゆるステークホルダーとの連携を広げつつ、2030年のあるべき姿に向け、一人ひとりがSDGsを意識し自律的に行動する「SDGs先進都市」の実現をめざす。





SDGs 未来都市計画（大阪府・大阪市） で示している2030年のあるべき姿

①いのち輝く幸せな暮らし（Human Well-being）

- ・健康や福祉など、人々の命や暮らしに関わる様々な社会課題の解決に向けた行動を、未来社会に向け呼びかけていくことが求められる。
- ・こうした考え方のもと、**誰もが取り残されることなく**、すべての命が大切にされ、人と人とのつながりの中で、全ての人が生涯にわたって、自らの能力や可能性を發揮し、**健康でいきいきと活躍できる社会の実現をめざしていく**。

②多様なチャレンジによる成長（Diverse Innovation）

- ・ライフサイエンスやものづくりなど強みとなる産業の成長とバランスの取れた産業構造が安定した大阪経済の成長の土台となっており、近年は、輸出額の増加やインバウンドの増勢に伴い経済は回復傾向にある。
- ・こうしたポテンシャルを活かし、都市の魅力や寛容性を高め、**多様な人材を呼び**、様々なことにチャレンジできる環境を整え、**新たな価値観やイノベーションの創出を図るとともに、地球環境を守る取組みを進めることで、持続的な成長に向けた取組みを推進していく**。

③世界の未来をともにつくる（Global Co-Creation Hub）

- ・世界では、地球規模での環境問題のほか貧困などの追加的課題が進行。また、科学技術の急速な発展は、社会課題を解決する重要な力ギとなる反面、不平等や格差の拡大など負の側面を招く恐れがある。
- ・世界各地の叡智が集まり、世界のベクトルを一つにできる万博開催都市として、誰もが世界とつながり、SDGsの価値観が大阪から世界に広がり、人々に共有され、「**ひとを救い、地球を守る**」、**ソーシャルグッドな取組みを推進していく**。



2030年のあるべき姿と優先ゴール

17のSDGs全ての達成をめざす中で、とりわけ、課題を克服すべきゴールや世界に貢献できるゴール（※重点ゴール）に注力
※OSAKA SDGs ビジョンにおける重点ゴール（ゴール3：健康と福祉、ゴール11：持続可能都市）





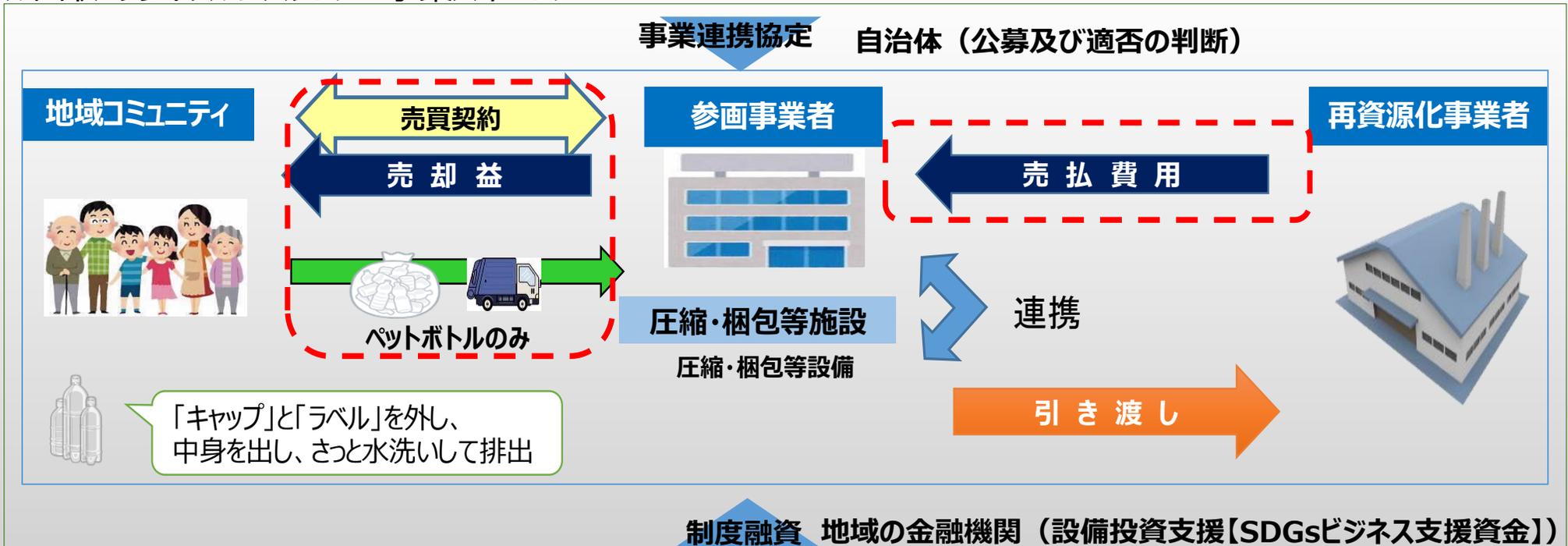
自治体SDGsモデル事業

モデル事業の取組概要（大阪発「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進プロジェクト）

日本で初めて開催された「G20サミット」（G20大阪サミット）の象徴的レガシーである「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン（※）」を先導する取組みとして、プラスチックごみ問題解決に向け、経済、社会、環境の三側面から、3R（リデュース、リユース、リサイクル）などの普及啓発や、海岸漂着ごみの実態調査、海ごみの回収などを府域全体で幅広く実施する。

（※）2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることをめざす世界共通のビジョン

「新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」事業スキーム



その他の取組み





SDGs 啓発イベント



大阪商工会議所とのコラボレーションイベントの様子
府内中小企業向けSDGs 啓発イベント「おっ！SakaまるごとSDGs」
(2020年8月26日)



SDGs 啓発イベント



大阪商工会議所とのコラボレーションイベントの様子
府内中小企業向けSDGs啓発イベント「おっ！SakaまるごとSDGs」
(2020年8月26日)



ジャパンSDGsアワード

第3回「ジャパンSDGsアワード」SDGs推進副本部長（内閣官房長官）賞（令和元年12月）



「Osaka SDGsビジョン」策定にあたり、大阪府の現状把握に向け確立した「自己分析モデル」が、他の自治体にとっても汎用性がある点を評価いただきました。

出典：首相官邸ホームページ



SDGs 普及活動

～阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト～「SDGsトレイン未来のゆめ・まち号」において、大阪府が、SDGsのゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマとしたポスターを掲示





SDGs 普及活動

SDGsの普及を図るため、ワークショップや大学や各種団体向けのSDGs講義などを実施しています。
※ご希望があれば「大阪府企画室」までお問合せください。

○最近の取組み

大阪SDGs学生・若者ワークショップ

- ・コロナ禍における課題・大事だと思う行動や、SDGsの自分事化にむけて意見交換を行いました。

大学や各種団体に向けたSDGs講義

- ・SDGsに関する大阪府の取組紹介や、大学ゼミへの研究協力などを実施



【お問い合わせ先】

大阪府 政策企画部 企画室 推進課

TEL:06-6941-0351

Mail: osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp



大阪府のSDGsビジネス支援

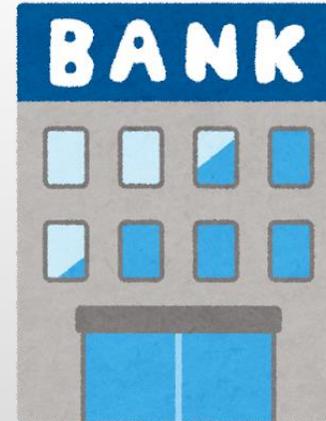
チャレンジ応援資金（SDGsビジネス支援資金）

【概要】

SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みに関する事業計画を策定し、計画の実行に取り組む府内中小企業に対し、必要な資金を融資

【融資限度額及び融資条件※】

融資限度額	2億円 (うち無担保8,000万円)
資金用途	事業計画の実施に必要な・運転資金・設備資金、運転設備資金
融資利率	1.4%以下（固定金利）
融資期間	7年以内



大阪府 制度融資



※詳細については、以下URLから「チャレンジ応援資金（SDGsビジネス支援資金）」をご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/246/00115458/25sdgs.pdf>



大阪府のSDGsビジネス支援

SDGs Business Meet-Up2020

2025年大阪・関西万博の開催を踏まえ、府内企業が本業でSDGsの達成に取り組む「SDGsビジネス」の創出・成長を支援するため、SDGsビジネスに挑戦する府内企業とこれに関心の高い支援者を結びつけるビジネスマッチング事業

- 【対象】 SDGsビジネスを検討している府内企業
- 【概要】 ビジネスマッチング、商談会の開催など
- 【主催】 大阪府

【次回】 ※オンライン開催

「共同研究」をテーマに、技術や実験施設などのシーズを持つ大学等の研究機関と、SDGsビジネスにおける自社製品・サービスの研究・開発や商品化のために研究機関と連携したい企業・団体・個人事業主のマッチングを目的として開催予定

<開催スケジュール（予定含む）>

第1回 (8月開催み)	公的支援	SDGsビジネスに対する支援スキームを持つ公的機関とのマッチング
第2回 (9月開催済み)	民間支援	SDGsビジネスに対する支援スキームを持つ民間企業とのマッチング
第3回 (11/11)	共同研究	自社で賅えないリソース等を提供可能な研究機関（大学等）とのマッチング
第4回 (1月頃)	業務提携	自社で賅えないリソース等を提供可能な民間企業とのマッチング
第5回 (2月頃)	資金調達 (海外・国内)	SDGsビジネスに対し融資、投資できる海外ファンド、金融機関等とのマッチング



SDGsの進め方（例）

～企業によるSDGs～

【参照】SDGs Compass SDGsの企業行動指針（GRI、国連グローバル・コンパクト、WBCSD作成）



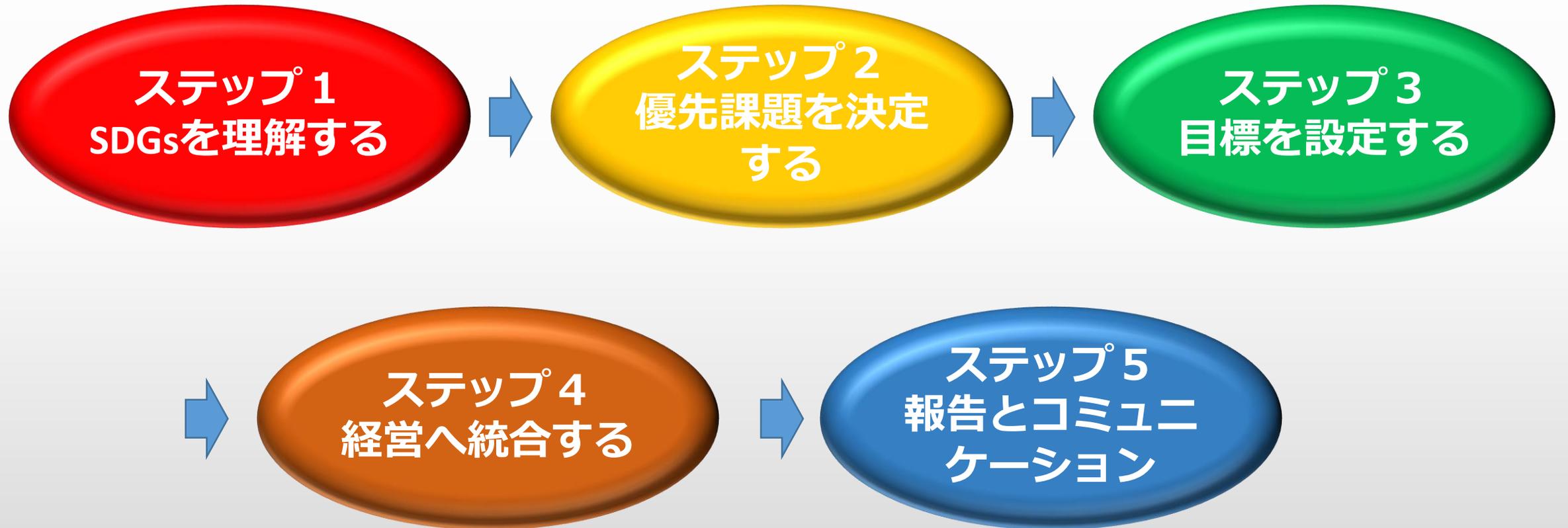


なぜSDGsに取り組むべきなのか

- SDGsが世界的な潮流に
- 日本にも大きな影響が
- 新たな事業機会の創出
- 人材獲得へのパスポート
- 世界とのコミュニケーションツール（投資家含む）



SDGsの進め方



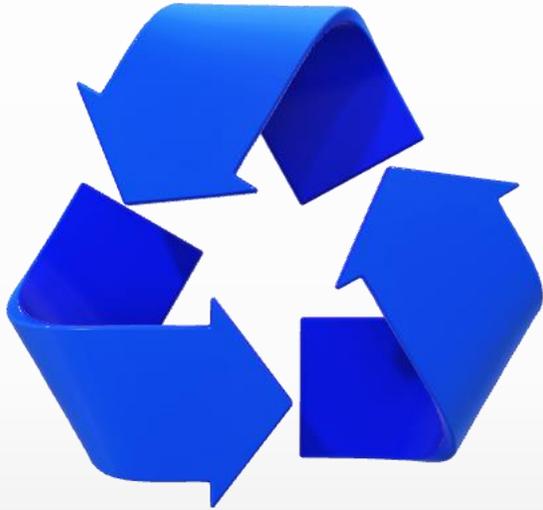
まずは、自社の事業活動とSDGsの17ゴールが紐付いてないか確認を



企業・団体の取組み紹介



リマテックホールディングス株式会社



〈主な事業〉

「資源リサイクル事業」「再生可能エネルギー事業」の2つの事業を軸に漁業や海難事故による原油流出、そして自然災害で発生した大量のがれき処理など、環境分野に関わりが深い事業を多く展開

〒596-0015 大阪府岸和田市地蔵浜町11番地の1
<https://www.rematec.co.jp/>



リマテックホールディングス株式会社

～既存事業活動のSDGsへの当てはめから脱却し、SDGsを基盤とした経営を目指す～

<事業とSDGsとの関わり合い>

○国内における資源循環事業  産業廃棄物からの再生燃料（RF）の製造など 

○環境修復事業  災害廃棄物の処理及び復旧支援

○海外における資源循環事業  廃棄物由来のバイオナチュラルガス製造 など

○再生可能エネルギー事業  バイオガス発電・太陽光発電によるCO₂削減 



パートナーシップで目標達成

具体的な取組み事項や削減状況についてHPやCSRレポートにて開示

グループ経営管理指標に織り込み、グループ各社の進捗管理・評価するために仕組みを検討

STB水準に沿ったCO₂排出量を算出し目標設定を実施



17ゴールのうち、どのゴールが自社の事業と関連性があるかを整理

Dari K (ダリケー) 株式会社



<主な事業>

日本ではあまり馴染みのないインドネシア産カカオ豆の栽培から、それらを使用したチョコレートを製造・販売まで一貫して行う京都のチョコレート店

〒603-8205 京都府京都市北区紫竹西高縄町72-2

<https://www.dari-k.com/>



Dari K (ダリケー) 株式会社

～「カカオ」を通して世界を変える-努力が報われる社会に～



<カカオ豆の栽培からチョコレートの製造・販売までを一貫して実施>



カカオの生産量世界第3位であるインドネシアで、高品質なカカオ豆作りに必要不可欠な発酵技術を指導し、直接買い取ることで、生産者の所得向上を実現



カカオのほか、トロピカルフルーツなども一緒に栽培する方法（アグロフォレストリー農法）を指導し持続的な土地利用を実現



カカオ農園ツアーを開催し、生産者と消費者の交流を行い、生産者の働きがい、やる気をアップ

◆「三方良し」のビジネスモデルの実現

【主なメリット】

- (1) 生産者 高品質なカカオの栽培・加工技術の習得と所得の向上
- (2) Dari K 高品質なカカオ豆の確保、美味しさとストーリー性の実現によるブランド化、販路拡大
- (3) 消費者 美味しいチョコレートを楽しみながら、社会にも貢献できる



FM802とFM COCOLOは、SDGsの達成に向けて メディアの強みを活かしたSDGs啓発や取組実践とともに、広報展開

主な取組

Odigmeout (ディグミーアウト) ⇒ 和訳すると「私を見つけて」という意味

FM802とFM COCOLOのプロモーション活動に若手アーティストを起用し
新しい活躍の場を提供する活動

メディアを通じた発信に加え、様々な大企業と若手アーティストとの
コラボレーションを企画し、ラジオとアートを一体化したプロモーションを推進
スポンサーとのリレーション構築など、アーティストに活躍の場を提供する
アートイベント「UNKNOWN ASIA」には、国内外から300以上のアーティストが参加



○SDGs関連番組

- ・FM802「EVENING TAP」コマキ手帖 放送日時：毎週水曜 20時台
「身近なことから未来のために土台（生活を）耕していこう。」をコンセプトに、
身近な取り組みから大きな取り組みまで、リスナーの皆さんと「未来への取り組み」を共有
- ・FM COCOLO「Whole Earth Radio」 放送日時：毎週日曜 6時
ローカルもグローバルも。さまざまなトピックを“Whole Earth”や“SDGs”の視点で考える
1時間の特集プログラム



株式会社Style Agent (スタイルエージェント)

～限りある資源を大切に、ゴミ箱のないセカイへ～

<サステイナブルなファッションを実現>

12 つくる責任
つかう責任



「サステイナブル」の理念に賛同するデザイナーが制作したリメイク商品や海外ブランドのリユース商品を取りそろえたファッションブランドを展開

4 質の高い教育を
みんなに



服飾専門学校と連携し、リメイクやリサイクルの大切さを時代のデザイナーに伝えていく

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



「サステナブルな社会とファッション」をテーマに、様々なクリエイターやアーティスト、多様なデザイナーと連携

神戸オフィス：〒651-0087

兵庫県神戸市中央区御幸通2丁目1番6号ジェイルミナ三宮ビル

<http://style-agent.jp/index.html>

▲2020年8月12日～25日
阪神百貨店3階催事スペースに出店



サラヤ株式会社 (SARAYA)

出典：外務省 「第1回ジャパンSDGsアワード」



大阪市東住吉区湯里2-2-8

<https://www.saraya.com/index.html>

- ウガンダとカンボジアにて、市民と医療施設の2方向から、手洗いを基本とする衛生の向上のための取組を推進。
- 「100万人の手洗いプロジェクト」として、商品の出荷額1%を、ウガンダにおけるユニセフの手洗い普及活動の支援に当てている。また、ウガンダに「現地法人サラヤ・イーストアフリカ」を設立し、現地生産の消毒剤やその使用方法を含めた衛生マニュアルを提供。
- 持続可能なパーム油類（RSPO認証油）の使用や、アブラヤシ生産地の生物多様性の保全に取り組むと同時に、消費者へのエシカル消費の啓発を実施。

「第1回ジャパンSDGsアワード」において、副本部長賞（外務大臣賞）を受賞。

株式会社 大同工業所

出典：大阪商工会議所ホームページ（SDGs取組み事例）



- 業務用冷蔵庫で培った技術を活かして、血液の保管と輸送システムを手掛けている。
- 血小板保管庫（※）の医療機器承認を持つ日本国内メーカーで、技術力に定評があります。JICA事業を通じて、ミャンマーのヤンゴン国立血液センターから2つの病院に血液製剤を保管輸送するシステムを構築し、2018年11月から稼働させている。

（※）血小板は血液を凝固させる働きがあるため、常に温度 $22\pm 2^{\circ}\text{C}$ 以内に保ちながら揺らし続ける必要がある。

大阪市中央区森ノ宮中央1-4-15

<http://www.daido-ind.co.jp/>

棚橋電機株式会社

出典：大阪商工会議所ホームページ（SDGs取り組み事例）



○河川の汚染が深刻なインドネシアにおいて、一定期間メンテフリーで、重度汚染や高濁度の環境下でも水質の測定ができる機構を新たに開発。

○センサーを洗浄する仕組みを開発した（※）のがミソで、開発協力会社や現地政府系研究機関等との間で日本とインドネシアの特許を共同出願すべく準備している。

（※）従来の水質測定システムでは、河川の汚染がひどいためセンサーに汚れが付着して、数日で機能しなくなっていた。

大阪市城東区蒲生町2-7-44

<http://tanahashidenki.co.jp/>

大阪商工会議所の支援

OSDGs取り組み診断

17ゴールの質問項目に回答し、取り組み度を診断。
取り組み度「70%以上」「50%以上」「50%未満」の3段階に分けて
SDGsの目標が表示。



OSDGs取組事例

SDGsに取り組んでいる大阪商工会議所の会員企業とその他参考企業等
を紹介。

※詳細については、大阪商工会議所国際部へお問い合わせください。
<https://www.osaka.cci.or.jp/sdgs/>

大阪商工会議所 SDGs





ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

大阪府 政策企画部 企画室 推進課

TEL:06-6941-0351

Mail: osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp

大阪府 SDGs



⇒ HP「大阪府／大阪府におけるSDGsの取組み」

